

校友会鹿児島県支部総会



平成14年度支部総会

- *開催日 平成14年11月2日(土)
- *場所 いわさきホテルザピエル450
〒892-0842 鹿児島市東千石町12-22
TEL 099-239-8888
- *スケジュール ①総会 17:30~18:00
②総長講演 18:00~19:00
③懇親会 19:00~21:00
- *主催 早稲田大学校友会鹿児島支部
- *会費 懇親会費 6,000円
事務運営費 1,000円
- *総会 (時間: 17:30~18:00)
1) 平成13年度事業報告及び決算報告の件
2) その他
- *総長講演 (時間: 18:00~19:00)
早稲田大学総長 奥島孝康氏
タイトル未定
- *懇親会 (時間: 19:00~21:00)
総長、大学関係者も参加されます。

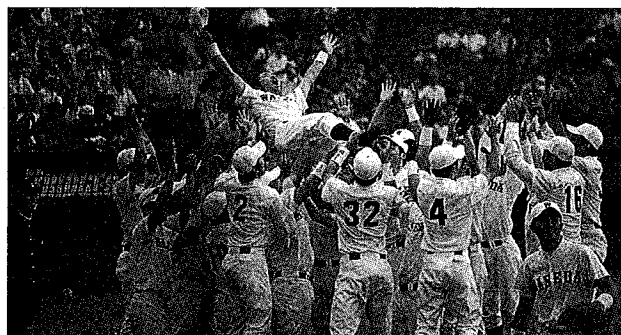
奥島孝康総長を迎え

退任間近となった

11月2日開催



発行 早稲田大学校友会
鹿児島支部
住所 鹿児島市金生町3-1
山形屋本部秘書室
☎099-227-6310(代)



恥をかけ、汗をかけ

中村学園大学助教

米山毅一郎(S59年法学部卒)

冒頭の言葉は、私が奥島孝康先生と初めてお会いした折にゼミ生一同の前に与えられた奥島ゼミの至上命題である。この命題を胸に刻んで早二十二年が経とうとしている。

先生との出会いは、私の人生を文字通り決定付けた。当時、漠然と政治家になることを夢想していたが、大学三年時放蕩生活からの脱却を決意し、ゼミ紹介要綱中、最も激しく学ぶ事が要求されると直感した奥島ゼミを選択した。地盤・鞆・看板の全てに欠けた野心家が、現代資本主義法の権化Ⅱ商法を研究するのも逸興との不遜な思いも存在した。ところが、先生のご指導を受けるうちに、私は商法のダイナミズム、一見無味乾燥な法規定の裏に潜む人類の歴史・価値観・知恵を学び、にもかかわらずそれらを決して声高には主張しない法解釈の妙味に完全に魅せられてしまった。

「大学院を受験してもよろしいですか。」本心に恐る恐る先生にご相談申し上げたのは忘れもしない四年夏のゼミ合宿である。一喝されて終わりだと諦めていた。あるいは冗談として一笑に付されるか？ところが先生は一言、「おう、俺のところにするか!」と、いつもの大きな笑いの中に、無謀な申し出をご承認下さったのだ。ところが、怠惰と無能の化身でしかない不肖の弟子は、先生の期待を裏切り続け、二年続けて試験に失敗。まさに遂方に暮れ果てた。先生は、鹿大の別府三郎先生をご紹介下さり、故郷で勉強する機会を与えて下さった。さらに、博士課程は、奥島先生の兄貴分大阪市大の故岩崎稜先生にまで道筋をつけて下さった。現在、何とか大学の教壇に立っている。冒頭の言葉は、無論、米山ゼミの至上命題でもある。

創立125周年記念事業は、「グローバル・ユニバーシティ」実現の大切な「礎」です

募金要項

■募金目標額 200億円(個人:100億円 法人:100億円)
 ※募金対象記念事業の総事業費約360億円のうち、約160億円を自己資金により賄います。

■募金の種類

個人：1口1万円できれば8口以上を一括または分割によりご協力をお願いいたします。1万円未満のご寄付もありがたくお受けいたします。
 法人：1口の金額は特に定めておりません。

■募金の期間

2000年4月1日から2008年3月31日まで

■寄付者の顕彰

ご寄付いただいた方全員(匿名希望者を除く)の芳名録を作成いたします。なお、寄付累計額が8万円以上の個人、20万円以上の法人・団体の皆様につきましては「早稲田大学創立125周年記念事業募金寄付者銘板」(仮称)にご芳名をしるし、末永く顕彰させていただきます。
 ※200万円以上のご寄付をいただいた個人の方には、大学より名誉称号を贈呈いたします。

■申込および振込方法と寄付金に対する減免税措置について
 個人

1. 寄付金が1万円を超える場合、その超えた金額がその年の課税所得から控除されます。(ただし、年間総所得金額等の25%が限度額)
2. 所得税控除の手続きは、寄付された翌年の確定申告期間に、「領収書」と「特定公益増進法人証明書」(写)の2点を添えて所轄税務署に申告してください。ただ

し、所定の振込用紙でお振り込みいただいた場合は、「振込領収書」をもって本学の発行する寄付金の領収書に代えさせていただきますので、大切に保管してください。

※免税に必要な書類は、本学に寄付金が入金され次第お送りします。

■毎年ご継続いただける場合

所定の「125寄付金自動振替申込書」(青色2連式)に所要事項をご記入の上、お申し込みください。詳細は「125寄付金自動振替申込書」をご参照ください。

■一括払いの場合

所定の振込用紙(赤色4連式)に所要事項をご記入の上、郵便局または振込用紙裏面記載の取扱銀行(全国の本支店)でお振り込みください。この場合の振込手数料は無料です。

※現金自動預払機(ATM)およびコンビニエンスストアでのお振込みはできませんのでご注意ください。また、電信扱いでのお振り込みもご遠慮下さい。

$$\text{減税金額(還付金額)} = (\text{寄付金額} - 1\text{万円}) \times \text{税率}$$

■法人

企業等法人からのご寄付につきましては、寄付金額が当該事業年度の損金に算入されます。損金算入にあたっては特定寄付金(寄付金の一定の限度額まで損金に算入できる)と指定寄付金(寄付金の金額を損金に算入できる)とがあります。

※「法人用募金趣意書」及び「法人用寄付申込書」をお送りいたしますので、お手数ですがご連絡願います。

※鹿児島県在住寄付者の件数は9月現在115件で目標に対し54.8%となっております。皆様のさらなるご協力をお願いします。



学校法人 早稲田大学
 創立125周年記念事業募金局

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104

TEL. 03-3204-1025 FAX. 03-5286-9801

E-mail waseda125@list.waseda.ac.jp URL http://www.waseda.ac.jp/waseda125/

グリーンクラブで培ったもの

南日本新聞社広告局

池端 紘一郎

(H14年第一文学部卒)



早いもので、この三月に早稲田を卒業してから半年が過ぎた。この半年で地元鹿児島島の良さを再認識させられたのはもちろんであるが、同時に

春の日々がふとした瞬間に思い出されるのもまた事実である。

私は学生時代、グリーンクラブに所属していた。ご存じの方も多いと思うが、グリーンクラブは一九〇七年に創設され、今年で九十五年の歴史をもつ男声合唱団である。現在でも百三十人を越える部員を抱え、合唱団としての規模は大学合唱団の中でも全国屈指である。主な活動は、年四回開催される演奏会が中心である。

その中でもメインとなるのが、毎年十一月の最終日曜日に開催される定期演奏会。

この演奏会に向けて、八月下旬から一週間合宿が行われる。この合宿がさながら体育会系を思わせるハードなものであった。

まず、早朝ランニングである。寝

起きで意識が朦朧としている中、三キロ弱走らされる。朝食の後は発声練習。全体で発声した後、個人での発声も待っている。発声練習が終了すると、ひたすら演奏会で歌う曲の練習である。おそらく、一日十時間は歌っていた。一週間だいたいこの繰り返しである。

実をいうと、学生時代私は合宿が好きではなかった。喉を痛めたり、体調を崩してまで練習することに懐疑的だった。しかし、社会人になってようやく意図を理解できるようになった。それは、単に定期演奏会のための歌唱技術向上だけではなく、負荷を集中させることで精神的な強さを養うことが目的だったのではないかと。事実、あの合宿を乗り切ったという自信は現在でも自分の精神的支柱になっている。

私はまだ社会人一年目。これから世の荒波にぶつかっていくが、早稲田グリーンで培った精神力を忘れずに前進していきたい。そして、自ら得たものを社会に還元できるように人間度量を身に付けたいと切に思う。今日この頃である。